

茨城県知事選 善戦健闘した明るい会・田中氏

知事選に結集した力を、「原発再稼働反対」「消費税増税反対」「福祉の充実」などの県民の声に沿って、今後も強めましょう！



9月8日に投票・開票された茨城県知事選挙は、平和委員会が参加する「明るい民主県政をつくる会（略称：明るい会）」の田中しげひろ氏は、25万7625票を獲得しました。得票率は34.47%でした。選挙結果について、NHKの出口調査によると、民主党支持層と無党派層の半数が田中候補に投票し、自民支持層の20%弱の票が田中氏に流れたとしています。田中氏は明るい会の候補として初めて、橋本氏を60%台の得票率に追い込みました。また橋本選対幹部が「信任ライン」とした50万票にも届きません。投票率は31%であり全有権者240万人からすると、20%の支持にすぎません。

田中候補は、「すべての県民が安心して暮らせる」ことを政策の基本に位置づけ、国の悪政に追随した大企業優先の大型開発優先の橋本県政5期20年を批判し、全県を精力的に遊説し、どこでも大きな歓迎を受けました。

田中氏は大型開発事業偏重から地域密着型公共事業へ、県民のく

らしと生業、医療・福祉、教育を充実させると同時に、「東海第二原発の廃炉」など、憲法を暮らしに活かす行政を県民と力を合わせて作ることを訴えました。

平和委員会は、水戸、土浦、石岡、大宮など、18地域で結成された「明るい会」で田中氏の支持拡大にとりくみました。また10,000人推薦の取り組みも進め、全体で1000人余の賛同者を獲得し、支援カンパを受けました。田中氏は、水戸（41.28%）、取手（44.17%）、牛久（46.10%）、つくば（41.31%）、守谷（42.71%）の各市では、ほぼ互角にたたかいました。

田中氏は8日の記者会見で「政策は県民の間に浸透して理解は広がったと思う」と述べ、「投票率や開票結果を見ると、橋本氏は信任されたと言い難い」と指摘し、「橋本氏には暮らしや福祉の面、原発への不安、消費税増税などの問題で、県民の声に真摯に耳を傾け県政に反映させてほしい」と語りました。

短歌

徒然なるままに

阿見町 水野秧一郎

目にうつる秋青々と日に映えて酷暑に耐えて健気に育つ
 つかの間の政治の乱れ忘れさす友と連れ立つ手賀沼の歩道
 筆不精無事を伝える夜メール手紙の温もり薄くなりつつ
 三十一にこだわる吾に友はいう字あまりあってもそれも良しとす
 百里基地くの字に曲がる誘導路当時を偲ぶ激闘の証

（短歌集 「権の実」 第三号より）



茨城県弁護士会憲法シンポジウム

「憲法改正」について考える

～自民党憲法改正草案をめぐって～

とき 9月21日（土）13:30～16:30

ところ つくば国際会議場 中ホール200(2階)

★入場無料（どなたでも参加できます。）

●基調講演

「憲法改正をめぐる議論状況について」

木村 草太氏（首都大学東京准教授）

●パネルディスカッション

～「憲法改正」の諸論点をめぐって

- ・木村 草太氏 ・葉梨 康弘氏（衆議院議員）
- ・福山 洋子氏（日弁連憲法委員会副委員長）

茨城革新懇記念講演会・第33回総会

憲法をめぐる情勢と

革新懇運動の課題

講師：関本 立美氏

（全国革新懇常任世話人、弁護士）

とき 9月28日（土）午後1時半～3時

ところ 茨城県立青少年会館・中研修室

参加自由・入場無料

茨城革新懇総会●午後3時より

記念講演終了後、休憩をはさんで開催します。

平和新聞

2013年9月15日（日曜日）

2027号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
 1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
 （郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

No. 665

2013/9/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
 Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

茨城県選挙管理委員会 会長 大津 春也 様

2013年9月6日

茨城県平和委員会
新日本婦人の会茨城県本部
原水爆禁止茨城県協議会

戦争や武器使用を肯定するような選挙啓発はしないこと

県選挙管理委員会は、知事選で若者の投票率を上げるため、「ガルパン」を選挙啓発のために使っています。

「ガルパン」とは「ガールズ&パンツァー（戦車）」という昨年放映されたアニメの題名です。内容は戦車を使った武道、「戦車道」が、華道や茶道と並んで、大和撫子のたしなみとされている世界が舞台です。「戦車道」が嫌いで「戦車道」のない県立大洗女子学園にやってきた主人公が、その戦車道の試合に参加し、大洗の町を破壊するという話です。

大洗町は3.11の東日本大震災の津波被害と同時に、東電福島原発の過酷事故による放射線による被害も受けました。特に海産物は、風評被害を含めて大変なことでした。

そんな中、7月の夏祭りでは、「ガルパン」人気にあやかっただけで、町おこしをはかり、軍艦や最新式10式戦車、地雷敷設機、模擬砲弾など、自衛隊の兵器を市民の前に展示しました。

しかし大洗町の市民から、「平和都市宣言の大洗町に戦車や軍艦は似合わない」、「戦車や軍艦、地雷敷設装置、砲弾のような、戦争・殺人のための武器の展示はやらないでほしい」、「戦争のための武器展示で町おこしを考えることは問題」という批判の声があがりました。

戦争体験者の声が、8月の原爆慰霊祭や終戦記念日を中心にマスコミ等でも丁寧に取り上げられています。体験した人の共通の言葉は、「戦争は悲惨だ、2度としてはならない」「絶対やってはいけない」です。

「たかがアニメ」、「戦争を称賛しているわけではない」という言い方もありますが、自治体の長や選挙管理委員会など公的な職にある人は、平和憲法を守る責任があります。とりわけ若者や子どもたちの「戦争」に対する抵抗感を弱めるようなことはやらないで下さい。

過日、横須賀の米軍基地公開で、市民に武器を展示し、操作させたりしたことが大きな批判を浴び、米軍は市民に謝罪しました。戦争のための武器を日常生活に割り込ませたり、若者を武器に馴らそうという動きにもっと敏感になり、それを止めさせる気概を持ってほしいのです。

県選挙管理委員会は、大洗の経験から若者への選挙啓発の利用を考えたのでしょうか。しかし戦争のための武器使用アニメで、若者の選挙啓発をするなどは根本的に間違っています。戦争を肯定し、戦争の雰囲気慣れることを助長するようなことは2度としないでください。

以上

[シリーズ] わが街・わか会員

潮来市 / 鈴木 秀幸さん (潮来市職平和委員会)

住民のいのちと生活を守るため、「脱原発・核兵器廃絶」



私は自治体職員として採用されてから今年で24年目、労働組合活動を通じて様々な平和活動に参加しています。日本に原爆が落とされてから68年目の夏となった今年、3年ぶりに鹿行地域国民平和大行進に参加しました。例年、出発式は百里平和公園で行われています。初めて参加したときは自衛隊機のあまりの轟音に驚きましたが、今年のはじめは例年になくとても静かな中行われました。猛暑の中、50人余の鹿行地域のみなさんとともに各市内を行進し、千葉県へ引き継ぎました。自治体訪問では直接市長が挨拶した鹿嶋市や毎年飲み物を差し入れてくれる神栖市など、各市で暖かい出迎えを受けました。

「ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！」を合言葉に、これまで長年に渡り地道に続けられた国民平和大行進は、核兵器廃絶に向けて大きな力になっていると確信しました。私たち若い世代が次世代へバトンを渡すためにも一人でも多くの賛同者を募り、「継続は力なり」という言葉を信じ、核兵器がなくなるその日まで歩き続けていきます。

私たち公務員は「全体の奉仕者」として、全ての住民のいのちと生活、権利を守るため職務を遂行することが法律で義務付けられています。ところが、今まさに住民のいのちと生活が脅かされそうとしています。世界に誇れる日本の平和憲法を改悪しようとする動きが急速に高まり、また多くの福島の方々の生活を奪い取った原発を再稼働し、こともあろうに海外へ売りこもうとしている安倍政権と国民の民意のねじれはいつこうに解消されません。世界に誇れる平和憲法を守り、多くの人々が望んでいる「脱原発」「核兵器廃絶」を実現させるため、これからも職場や地域住民のみなさんとともに学習を深め、平和を守る活動に奮闘していきます。



[第43回] 水戸母親大会

とき 10月5日 (土) 受付 13:00 ~ 終了 16:30

ところ 茨城県立歴史館 講堂

第1部 平和コンサート 佐藤真子さん

ソプラノ歌手 (ピアノ弾き語り) 14:00 ~ 14:30

第2部 記念講演 「マスコミのうら・おもて」

～メディアは何を伝え・何を伝えないのでしょうか～

講師：仲築間 卓蔵さん 14:40 ~ 16:00

(ジャーナリスト・マスコミ9条の会会員)

どなたでも自由に参加できます。

資料代は600円です。



竜ヶ崎市・藤沢 宏至 さんから「ハガキ」をいただきました！

『8月24日付 はがき』の内容

「戦争と平和が交錯する日 8月15日、そのときアジアは」(学習版No.2)を読みました。8月15日前後のアジアの歴史的事実を、正確な日付で、透徹した頭でとらえ、近來にない説得力のある記事で、思わずひきこまれて、感動しました。

特に、沖縄のいまの問題、よく「銃剣とブルドーザーで土地を奪い」とうたわれ、なんとなくその気になって、思っていただけでしたが、よくわかりました。

一枚の写真からの2つの詩もいいですね。ますますのご健筆を祈りつつ、とりあえず感想を述べました。 草々